

避雷器

施工・取扱説明書

品番： LGSA-103J
LGSA-103AJ第1版
2014年12月

このたびは、“住宅用分電盤 en ステーション専用 避雷器（以下、避雷器）”をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本製品は住宅用分電盤 en ステーション（以下、en ステーション）専用です。
- 施工前に本説明書をよくお読みいただき正しく施工してください。
- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。必ず、**電気工事士の有資格者が施工**をおこなってください。
- 定期的に避雷器の動作表示ランプが点灯していることを確認してください。
- 本説明書は、大切に保管してください。
- 本説明書に記載されている仕様をはじめとする、各事項は予告なく変更することもあります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

河村電器産業株式会社

技術相談専用テレホンサービス TEL (0561) 86-8171

※承り時間は
土・日・祝祭日・年末年始を除く、AM 9:00～PM 5:00 です。

本社

〒489-8611 愛知県瀬戸市暁町3番86
TEL: (0561) 86-8111

営業所所在地

弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.kawamura.co.jp>

施工会社さまへのお願い

施工完了後は下記に連絡先を記入してください
また本説明書および付属品は施主さまへお渡しください

ご購入店名または 施工会社名

電話番号 ()	—
お引渡し日	年 月 日

安全上のご注意

必ず、お守りください

お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため必ずお守りいただくことを説明しています。
施工前によくお読みください。

- 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。

警告	死亡または重傷の発生が想定される内容です。
注意	中程度の障害や軽症の発生または物的損害のみが想定される内容です。

- お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

禁止	してはいけない禁止している内容
強制	必ずしなければならない強制的内容

警告	
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分で分解や改造または修理をしないでください。分解や改造または修理等で生じた事故については一切責任を負いません。 ■ 充電部に触れると感電する場合がありますので、触れないでください。
強制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品は、単相3線式（100/200V）および単相2線式（200V）用です。 ■ 取付、配線方法は必ず本説明書に従ってください。 ■ 異常（発熱、臭い、煙など）がありましたら直ちに主幹ブレーカを「切」にして、電気工事業者へ連絡してください。そのまま使うと火災・故障の恐れがあります。

注意	
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対におこなわないでください。 ■ 避雷器の交換は必ず電気工事士の有資格者がおこなってください。 ■ 避雷器の分解、改造、ヒューズの取替え等の修繕や本説明書の記載内容を逸脱した使用はしないでください。

注意	
強制	<ul style="list-style-type: none"> ■ en ステーションの主幹漏電ブレーカは、過電流保護機能付かつ衝撃波不動作形のものを使用してください。 ■ 被保護機器の接地線は、en ステーションの接地端子に接続し避雷器と接続一点接地としてください。 ■ 安全にご利用いただくため、定期的に点検を電気工事業者へ依頼されることをお奨めします。 ■ 襲雷のときに動作表示ランプの確認をおこなってください。 ■ 通電中に、動作表示ランプが消灯している場合、または交換報知出力間（AL）が導通している場合（数10Ω程度の抵抗値があります）、避雷器は雷サージの吸収により劣化し保護機能がなくなっています。新品と交換してください。（停電のときも交換報知出力間は導通状態になります。） ■ 直撃雷や、アンテナ線、通信線から進入する雷サージからの保護はできません。 ■ サージが短い間隔で継続的に加わるような回路には使用しないでください。 ■ 本製品の廃棄は、産業廃棄物として法律に従い廃棄してください。

施工上のご注意

必ず、お守りください

注意									
強制	<p>【設置環境に関するご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 設置環境は以下条件でご使用ください。 下記条件以外の特異な環境にて使用される場合は、性能や機能を損なう恐れがありますので、設置前に弊社へご相談ください。 <table border="1"> <tr> <td>設置場所</td> <td>屋内用</td> <td>相対湿度</td> <td>45～85%RH</td> </tr> <tr> <td>周囲温度</td> <td colspan="3">-10～+50℃</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光、水のかからない場所 ● 結露しない場所 ● 周囲空気の粉塵、酸・アルカリ・腐食性ガス・塩分による汚染が発生しない場所 ● 本体に対して、外部に起因する振動・圧力がない場所 	設置場所	屋内用	相対湿度	45～85%RH	周囲温度	-10～+50℃		
設置場所	屋内用	相対湿度	45～85%RH						
周囲温度	-10～+50℃								
強制	<p>【適用に関するご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本避雷器は電源線、接地線から進入する誘導雷サージ（10kA 8×20μS 1回）から機器を保護する避雷器です。単相2線式（100V）の回路には使用できません。 ■ 本避雷器は分電盤の主幹漏電ブレーカの2次側に接続してご使用ください。 								
強制	<p>【保守・点検に関するご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ DC500V以下の絶縁抵抗試験（対地間）は、接続したまま実施することができません。絶縁抵抗が低い場合は、特性が劣化している恐れがありますので新品と交換してください。線間の絶縁抵抗測定は、避雷器故障の原因となりますので実施しないでください。 ■ 耐電圧試験を実施する場合は、本避雷器の接続を外して実施してください。 								

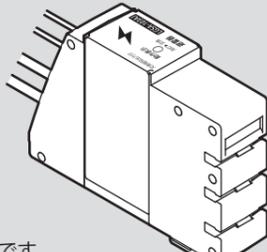
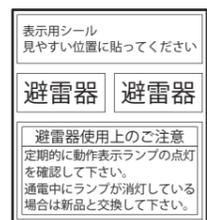
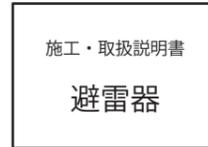
接地施工に関するご注意

- 避雷針の接地との共用はしないでください。
- 避雷器の接地線は、確実に分電盤内の接地端子に接続してください。接地線を配線しないと対地間サージを防ぐことができません。
- 被保護機器は、分電盤の接地端子より配線された接地線に接続し避雷器と接続一点接地としてください。被保護機器と本避雷器が接続一点接地されていない場合保護はできません。
- 避雷器接地線は、短く直接的に配線してください。
- 分電盤内の中継用接地端子から地中へ配線する接地線は規格に従った5.5mm²以上の太さの電線で接地してください。

施工前に

次の点をお確かめいただき、異常がございましたら購入元にご連絡ください。

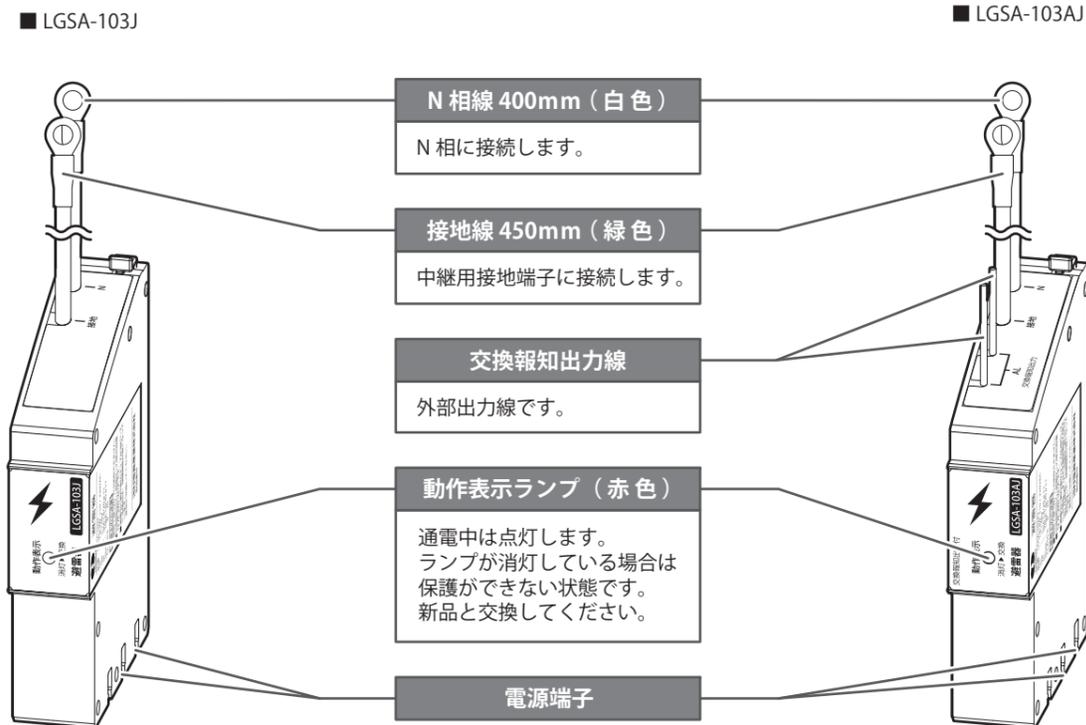
- 仕様をご要求のものと同じですか？
- 輸送中の事故などにより製品が破損していませんか？
- 開梱したときに水濡れはありませんか？
- 下記の本体や付属品などはすべて揃っていますか？

本体	
イラストはLGSA-103AJです。	
【付属品】	
ラベル【使用上のご注意】	施工・取扱説明書（本紙）
	
表示用シール 見やすい位置に貼ってください	施工・取扱説明書 避雷器

仕様・定格

品番	LGSA-103J	LGSA-103AJ
適用ホーム分電盤	en ステーション	
適用回路	単相2線式 AC 200V 単相3線式 AC100/200V	
定格周波数	50/60Hz	
連続使用電圧 U _c	単相3線 110/220V AC	
電圧保護レベル U _p	1,500V 以下	
公称放電電流 I _n	5kA (8/20μs)	
最大放電電流 I _{max}	10kA (8/20μs)	
試験クラス	Class II	
交換報知出力 (半導体・無電圧) 接点容量	—	AC200V 50mA
使用範囲	周囲温度	-10～50℃
	相対湿度	45～85%
外形寸法 (mm)	H95 × W20 × D65	

各部の名称とはたらき



施工方法

■ 配線施工手順

1 分電盤のカバーを開く

- 負荷機器に支障がないよう主幹ブレーカを OFF にし en ステーションのカバーを開けます。

2 避雷器の取付

- 新しい避雷器を取り付けます。
(動作表示ランプが消灯して交換する場合は、被交換品の避雷器を取り外し、新しい避雷器を付けてください。)

3 N相接続線の接続

- 避雷器のN相接続線を en ステーションのN相銅バー端子に接続してください。
- 使用する en ステーションによって接続箇所が異なりますので『N相接続線接続箇所』をご確認ください。

4 接地線の接続

- 避雷器の接地線は、en ステーションの中継用接地端子に接続してください。
- 接地線の接続は『接地施工に関するご注意』および『結線図』をご確認ください。

5 接続端子の注意

すべての接続端子ねじは、緩みの無いよう規定のトルクにて確実に締め付けてください。

呼径	M4	M5	M6	M8
締付トルク (N・m)	1.2~1.6	1.6~2.0	3.0~4.0	5.5~7.0

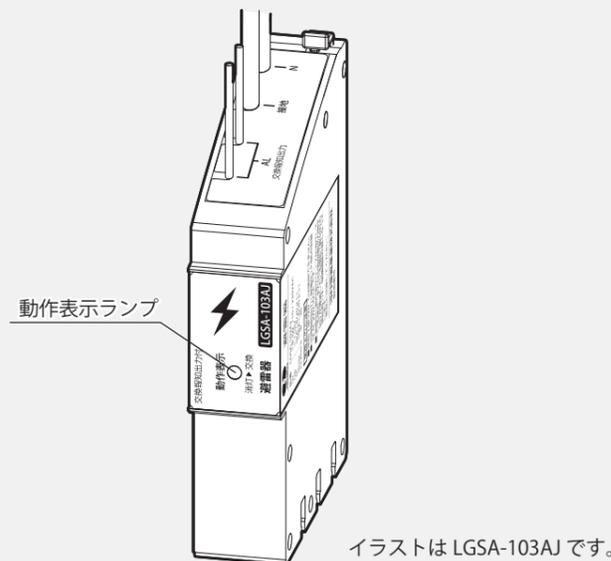
■ 動作確認

主幹ブレーカを ON にして動作表示ランプが点灯することをご確認ください。

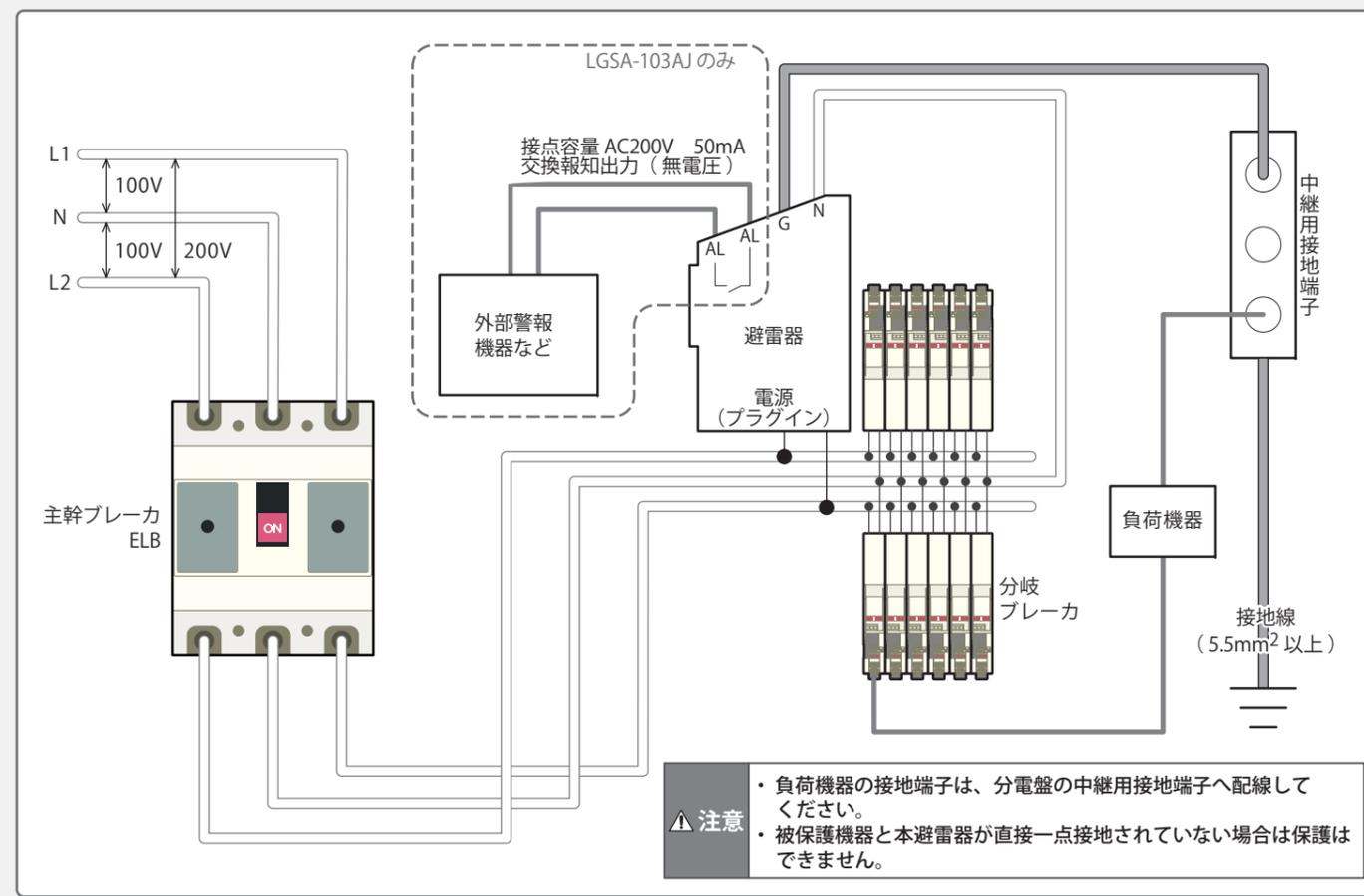
- ① 配線を確認し、主幹ブレーカを ON にし、動作表示ランプが点灯することを確認してください。
- ② en ステーションのカバーを閉め、開口窓より動作表示ランプが目視できることを確認してください。

【シールが貼り付けられていないとき】

付属品「ラベル [使用上のご注意]」の該当する回路のシールを負荷名称とカバーの見やすい位置に貼ってください。



結線図

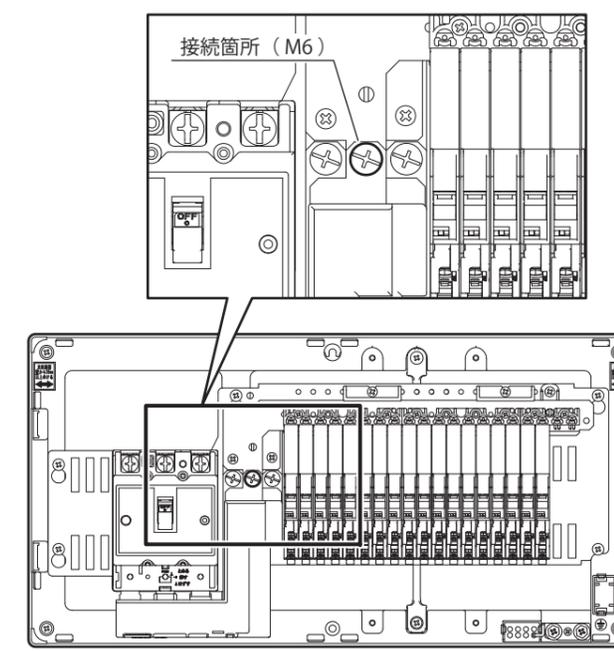


N相接続線接続箇所

▲ 警告

締め付けトルクをお守りください。
導電部の接続ねじは適正締め付けトルク範囲内で確実に締め付けてください。
火災になる恐れがあります。
M6 締め付けトルク：3.0~4.0 (N・m)

■ 横一列タイプ



■ スタンダードタイプ

